

祝**令和5年度
佐賀県立唐津工業高校入学式**

令和5年4月10日(月)



CONGRATULATIONS
ご入学
おめでとうございます



まっぴ



(編集/発行)
唐津工業高校
PTA広報部

新年度のご挨拶

PTA会長 末次 知浩

P T A会員の皆様、こんにちは。
昨年度に引き続き会長を拝命させていただきます。今年度もよろしく
お願い致します。昨年度は皆様の多大なる
ご協力のおかげで、大きなトラブル等もなく
無事過ごすことが出来ました。今年度も引き
続き皆様のご理解・ご協力のほどよろしく
お願い致します。

五月に新型コロナウイルス感染症が5類
に移行され、学校生活・社会生活などもコ
ナ禍前の日常に戻りつつあります。PTA
活動についても三年間のコロナ禍のブラ
ンクがあり、本格的な活動を再開してい
くことは暗中模索の状態となりますが、今年度
は昨年度以上に活動していけるよう本部役
員共々精一杯頑張ります。

学生の皆様は、一人ひとりが唐津工業高
校の顔、宣伝マンだという自覚を持ち、節度
ある行動をとられる事をお願い致します。
実業高校という性質上、高校卒業後は就職
される方が多いと思います。地域の皆様の
目の向こう側には、各企業の目があるとい
うことを認識し、即戦力として是非とも
うちの会社に来て欲しい」と思ってもらえ
るよう日々精進し、頑張ってもらえと思
います。信用・信頼を築くのは長年の努力が
必要ですが、失つのは一瞬であるという事を
忘れないうで下す。

保護者の皆様におかれましては、学校へ
のご意見、ご要望等ございましたら是非とも
お伝えいただくと幸いです。PTAとは
保護者と学校を繋ぐものだ認識してあり
ます。皆様の忌憚なきご意見が、お子様の
より良い学校生活につながる事になります。
よろしくお願い致します。

本年度も皆様一丸となつて、唐津工業高
校を盛り上げてまいりましょう！



PTAとともに
子供たちの成長を支えて
校長 東福 昌勝

平素より本校の教育にご理解、ご協力いただき、
誠にありがとうございます。

この4年間、コロナ禍により、様々な制限の中
での学校生活が余儀なくされましたが、5類引き
下げにより、ようやく以前のような活動が可能に
なりました。新型コロナウイルスがなくなつたわ
けではないため、感染予防対策は続けますが、学
校行事についてはコロナ禍前の形で進めています。
子供たちはこれまで感染予防のため、本来経験
すべきことや、人との交流がかなり少なかつた
ため、社会性を培うという点では私たち教師だけ
ではなく、保護者や地域の方々の力が必要と考え
ています。今後も様々な機会を活用し、相互協力
して、子供たちが良き社会人に成長するよう、
取り組んでいく所存です。

2学期の始業式は防災の日でもあったため、7
月の北部九州豪雨で佐賀県でも甚大な被害が出た
事に触れ、子供たちには災害は人ごとではないことを
伝えました。またPTA全国大会で講演された、
仙台育英学園高等学校硬式野球部監督須江航先
生の話から次の2つのことを紹介しました。

○「人生は敗者復活戦であり、成功者と呼ばれる人
たちもほとんど挫折を経験し、困難を乗り越えて
今がある。挫折のない人生なんてなく面白くない。」
○「情熱や困難に立ち向かう力、粘り強さや持久力、
成否が見えるまでやりきる力、素直さや柔軟性が
ある力、このような力を生徒にはつけてほしい。」

始業式では話していませんが、講話の最後に、
「伝わる言葉とは、相手が聞きたいことを話すこ
とであり、そのためには相手の話を聞くしかない。
プロとは、求められている以上のことを安定して
供給できる人である。」と話されたことが心に残り
ました。この言葉は私たち教育の携わる者、そして
保護者として意識すべきことではないでしょうか。
これからもPTAの皆様と協力して、子供たちの
成長を支えてまいります。引き続き、よろしく
お願いいたします。

役員紹介

令和5年度役員



◆令和5年度 役員一覧◆

会 長	末次 知浩
副 会 長	田中 晃洋
	福浦恵理子
	青木 一里
監 事	坂本麻衣子
	石橋 正光
	熊谷 智江
	川上 殉
顧 問	磯口 恵

令和4年度役員



◆令和4年度 役員一覧◆

会 長	末次 知浩
副 会 長	北島 直剛
	磯口 恵
	山口 静香
監 事	田中 晃洋
	栗山 淳
	福浦恵理子
	中村 優佳
	青木 一里
顧 問	池田さおり

新役員

石橋さん

3年間頑張ります。
ご協力をお願いします。

磯口さん

新役員ではありますが、はや10年!!
よろしくお願いします、

川上さん

PTA役員の川上殉と申します。
唐津工業高校の為、精一杯頑張ります。

熊谷さん

子ども達の高校生活が楽しいものになる様に、
皆さんと出来ればと思っております。

佐賀県高等学校PTA連合会総会

6月2日(金) 14:00～ グランデはがくれ
東福校長と末次会長が参加されました。

唐松地区高等学校PTA総会

6月9日(金) 18:00～ 長崎荘

今年度は、唐津西高校が主催され、本校より11名、
全体で60名の出席があり、事業報告と各高校より
あいさつがありました。

九州高等学校PTA連合会大会

6月30日(金) SAGA プラザ

末次会長が“青少年の健全育成とPTA活動について”
という演題で、本校のPTA活動について発表しました。



代議員会 4月28日(金) 長崎荘

昨年度はコロナの影響で、総会に代えて決議しました。今年度は、4年ぶりに開催されました。
参加していただいた役員の皆様、ありがとうございました。

1. PTA 会長挨拶
2. 校長挨拶
3. 役員、代議員、
別会員(教職員)の紹介
4. 会選出
5. 議事



PTA総会・授業参観 5月14日(日)

PTA総会について 田中晃洋

5月14日、本校体育館で令和5年度のPTA総会が行われました。参加者は1年100名、2年84名、3年65名です。455名中249名の参加がありました。たくさん保護者の参加があり無事総会を開催できました。役員一同感謝申し上げます。

総会の目的は事業報告、決算報告、役員選出、学校からのお知らせです。保護者の皆様の同意があつての事業です。会は順調に進行し新役員、新代議員(クラス委員)も承認を受け令和5年度のPTA活動が本格的に始まりました。

総会に保護者役員として参加し感じることはありません。会計や事業報告も大事ですが何より学校の方針を知る重要な機会だと思えます。本校の学校経営ビジョンは「ものづくりによる人づくり」「部活動による人づくり」を二本の柱とされています。多くの生徒は高校卒業後、社会の即戦力として世に出ています。総会は先生方、PTAが何をしているのか知る大事な機会です。私は3年生の保護者で唐津工業高校PTA3年目です。一年目何もわからないまま参加した総会で「ものづくりと部活動」の言葉が印象に残りそれが実践されている学校だと感じています。保護者の皆様、総会に参加して子供が通う唐津工業高校をより深く知るきっかけになると思います。今後も保護者様の総会参加をお願いします。



授業参観の様子



第72回 全国高等学校PTA連合会 宮城大会

もり
「豊かな杜につむぐ虹の光」～しなやかな強さで生き抜く力～



8月23日(水)～25日(金) カメイアリーナ仙台 他

震災遺構



2011年3月11日の東日本大震災では高さ10mの津波に襲われた荒浜小学校。校舎は2階の床上40cmまで浸水し、震災の爪痕を今でも鮮明に残していました。

現地で災害の恐ろしさを肌で感じ、バスガイドさんの詳細な被災体験も聞くことができ、とても貴重な体験ができました。

第1分科会

地域教育に関して「コミュニティスクールとグローバルの光」と題して市瀬宮城教育大学教授が講演されました。

東北地方の教育課題、持続可能な課題解決への取り組み。そして世界的な教育の潮流を実例を交えて話されました。

第4分科会

post コロナ「いまだから語りたい！PTA活動の魅力」

近年の急激な社会変化の対応を家庭や学校で個々に行うことはとても難しいことです。親・学校・地域が対等な立場でお互いを支えあい、子ども達の健全な成長のために何ができるかを共に考えることが大切です。学校へのサポートは子どもへのサポートに繋がります。

「PTAは子ども達の応援団!!子どもたちのために、何事もやるんだったら楽しくやろう」という精神で、ここで得た学びをこれからの活動に活かせるようにしたいと思います。

第3分科会

レジリエンス教育

～自己肯定感と逆境から立ち上がる力を育む～

親世代の経験や価値観を押し付けることはナンセンス。大切なことは、まず寄り添い相手の言い分、考えをよく聴くこと。言いたいこともあるかもしれないが、まず全肯定の姿勢で話を聴くこと。

子どもたちと同じ目線でコミュニケーションをとることが大切だと講演されていました。

第5分科会

防災・減災教育

～教訓から自助・公助の力を育む～

東北の高校では、3.11の経験・教訓を生かし震災の伝承を行っている。防災教育とは命を守り抜く教育であり、自助を徹底する。

高校生だからできること、生徒目線の取り組みを生かし、地域防災リーダーの育成に努め、共助・公助の力を育む取り組みが行われていました。

記念講演

仙台育英学園高等学校
硬式野球部監督 須江航氏

伝わる言葉 ～失敗から学ぶ～

伝わる言葉とは、相手が聞きたいことを話すこと。そのためには相手の話をよく聞くしかない。相手が求めていることをまず知ることが大切だと話されていました。

失敗から学びも大切にされ、子どもだけでなく、大人も挑戦を恐れず失敗を経験し、他者の失敗からも学びを得る。座右の銘は「人生は敗者復活戦」。挑戦と行動をする姿を生徒に見せたいと、言葉巧みに生徒と関わっている様子がよく分かる講演でした。

編集後記

今年度から、まつなみ新聞の発行を年2回で予定しています。

不慣れですが、よろしくお願いいたします。

広報担当・役員一同

2学期の
事業計画

10月 7日(土) 文化祭

11月 16日(木) 企業視察

17日(金) 唐松地区高等学校PTA指導者研修会
(全国高P連大会 報告担当)

12月 8日(金) 全校マラソン大会